

第11期末(2022年5月16日)	
基準価額	10,243円
純資産総額	61,636百万円
第11期	
騰落率	△ 5.5%
分配金(税込み)合計	25円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

ブレンドシックス

追加型投信／内外／資産複合

交付運用報告書

第11期(決算日2022年5月16日)

作成対象期間(2021年11月16日～2022年5月16日)

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。当社ホームページにアクセスし、「ファンド情報」等から、当ファンドのページを表示させることにより、運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付を希望される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。

さて、「ブレンドシックス」は、2022年5月16日に第11期の決算を行いました。

当ファンドは、投資対象ファンドを通じて、主として6つの資産(日本国債、ヘッジ付海外債券、高金利海外債券、グローバル高配当株式、グローバルREIT、金)に投資し、インカム収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行っています。

ここに期間中の運用状況についてご報告申しあげます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

スカイオーシャン・アセットマネジメント

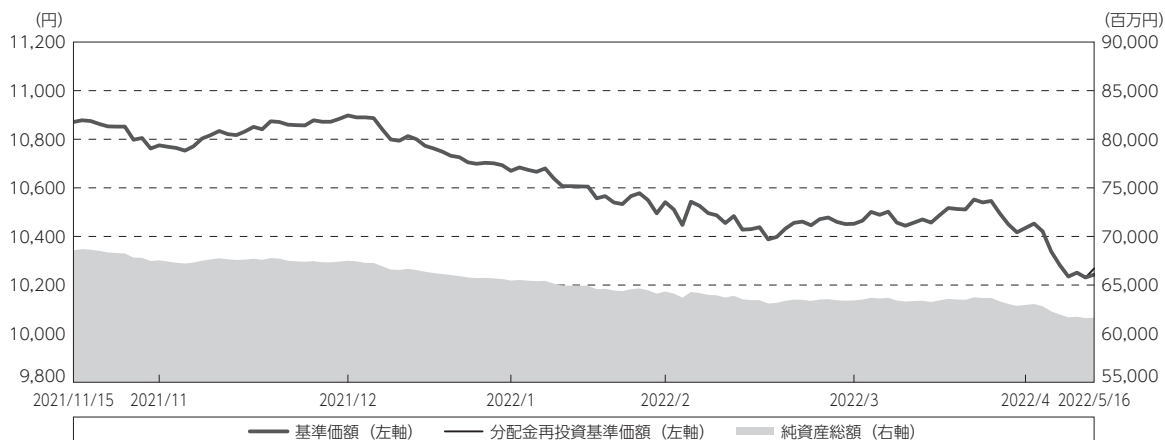
〒220-8611 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-1-1

<照会先> ホームページ：<https://www.soam.co.jp/>
サポートデスク：045-225-1651
(受付時間 営業日の午前9時～午後5時)

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2021年11月16日～2022年5月16日)



期首：10,871円

期末：10,243円 (既払分配金(税込み)：25円)

騰落率：△ 5.5% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2021年11月15日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、日本を含む世界の債券、株式、不動産投信、金上場投信などに投資を行う6つの投資信託証券に投資を行い、インカム収益の確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行っています。また、各資産の基準価額への影響度合いが、6資産の間で概ね均等になるような資産配分戦略（ブレンドシックス戦略）を用いて、基準価額が特定の資産から受ける影響を抑えることを目指しています。期末における各資産の組入比率及び当期間における投資対象先ファンドの騰落率は以下のとおりです。

投資資産	組入ファンド	当期末 組入比率	騰落率
日本国債	日本超長期国債ファンド（適格機関投資家向け）	28.7%	-4.2%
ヘッジ付海外債券	高格付先進国ソブリン債券（円ヘッジ）ファンド（適格機関投資家向け）	35.2%	-10.3%
高金利海外債券	高利回りソブリン債券インデックスファンド	11.7%	-13.0%
グローバル高配当株式	グローバル・ハイインカム・エクイティ・ファンド アンヘッジド・クラス	6.9%	9.4%
グローバルREIT	グローバル・リアルエステート・ファンド（適格機関投資家向け）	4.5%	0.4%
金	ゴールド・ファンド（適格機関投資家向け）	11.1%	10.2%

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 騰落率は分配金再投資ベースです。

1万口当たりの費用明細

(2021年11月16日～2022年5月16日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	51 円	0.483 %	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(22)	(0.203)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(27)	(0.258)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.001	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	51	0.484	
期中の平均基準価額は、10,628円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

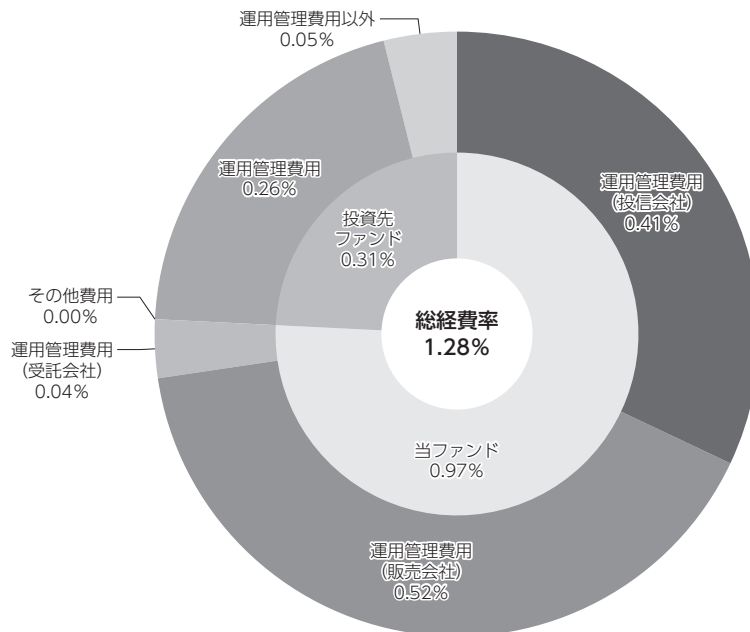
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては、「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.28%です。



(単位: %)

総経費率(①+②+③)	1.28
①当ファンドの費用の比率	0.97
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.26
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.05

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

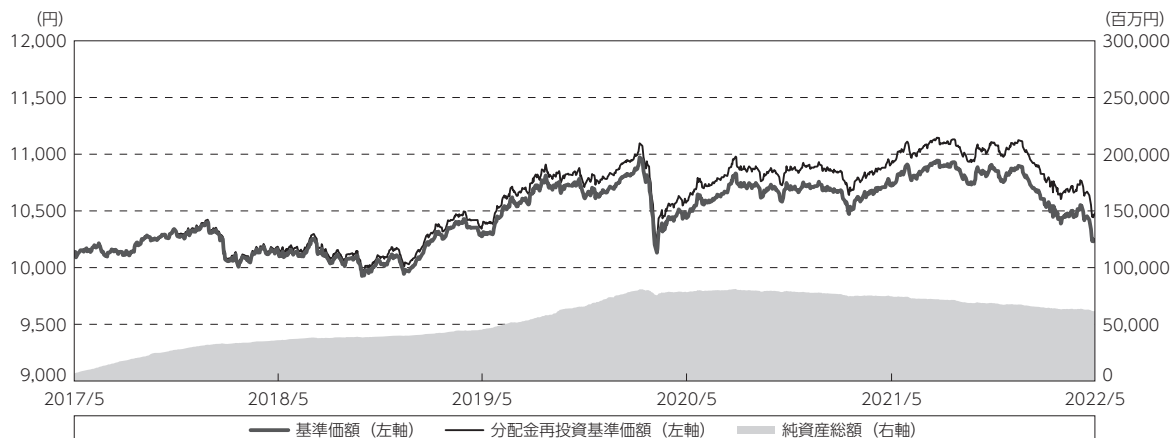
(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2017年5月15日～2022年5月16日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2017年5月15日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2017年5月15日 決算日	2018年5月15日 決算日	2019年5月15日 決算日	2020年5月15日 決算日	2021年5月17日 決算日	2022年5月16日 決算日
基準価額 (円)	10,113	10,140	10,276	10,437	10,722	10,243
期間分配金合計(税込み) (円)	—	40	50	50	50	50
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	0.7	1.8	2.0	3.2	△ 4.0
純資産総額 (百万円)	6,628	35,976	45,311	78,316	74,612	61,636

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

投資環境

(2021年11月16日～2022年5月16日)

日本国債市場は下落しました。新型コロナウイルス変異株「オミクロン株」への警戒感から2021年12月半ばまで強含みに推移しましたが、その後は、米欧の金融当局による金融政策正常化に向けた動きを背景に下落傾向が続きました。2022年2月半ば以降、ロシアによるウクライナ侵攻や、日銀による国内長期金利の上昇抑制策などを受けて買い圧力が高まる場面も見られましたが、米欧での金融引き締め観測が一段と強まったことで、全般的には軟調な相場展開となりました。

海外先進国債券市場は下落しました。オミクロン株の感染拡大による世界景気の悪化が意識されたことや、ウクライナ情勢が世界の政治・経済に及ぼす悪影響が警戒されたことなどが買い要因となりましたが、米国や欧州で大幅な物価上昇が続く中、主要金融当局が量的緩和縮小や利上げを視野に入れた金融政策運営を行ったことから、総じて売り圧力の強い状況が続きました。

新興国債券市場は下落しました。ロシアのウクライナ侵攻をきっかけに2022年2月半ばから3月半ばにかけて急落し、その後も米国長期金利の上昇や中国景気の減速観測などが悪材料となりました。

グローバル高配当株式市場は上昇しました。オミクロン株の感染拡大、米欧の金融当局による積極的な引き締め姿勢、ウクライナ問題などの悪材料を受け、売りが広がる場面も見られましたが、米欧の企業業績が概ね堅調に推移したことや、資源価格の上昇を背景にエネルギー関連株の一部に買いが入りました。

グローバルREIT市場は下落しました。2021年は米国景気に対する楽観的な見方を受けて上昇傾向で推移しました。2022年に入ると米欧の金融政策正常化に向けた動きを背景に下落した後、3月には買い戻しが入りましたが、4月半ば以降は、米国をはじめとする世界的な長期金利の上昇が嫌気され、期末にかけて大幅に値を下げました。

金市場は下落しました。米国金融政策の早期正常化観測を受けて期初に下落した後、2021年12月以降は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う世界景気の下振れ懸念、高インフレ、ウクライナ情勢などのリスクを回避する目的で金を買う動きが続きました。しかし2022年3月に入ると、世界的な長期金利上昇や、為替のドル高進行が嫌気されたことで下落に転じました。

為替市場では、円／ドル相場は円安・ドル高となりました。米国当局による金融政策正常化への動きをにらみながら、当期間を通して円安・ドル高傾向で推移しましたが、特に2022年3月以降は、日米間での金融政策の方向性の違いによる金利差拡大や、原油高を背景とした日本の貿易収支の悪化観測などを背景に、円売り・ドル買いの動きが加速しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2021年11月16日～2022年5月16日)

ブレンドシックス戦略に基づき、投資対象とする各資産の基準価額への影響度が均等となることを目指して目標組入率を決定しました。目標組入率は、日本国債が24.7%～29.4%、ヘッジ付海外債券が34.6%～40.1%、高金利海外債券が11.9%～13.7%、グローバル高配当株式が6.5%～7.8%、グローバルREITが4.6%～5.4%、金が9.8%～12.2%の範囲で推移しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

分配金

分配金額は、経費控除後の利子・配当等収益、基準価額水準等を考慮して以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税込み)

項 目	第11期
	2021年11月16日～ 2022年5月16日
当期分配金	25
(対基準価額比率)	0.243%
当期の収益	25
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,228

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

今後ともブレンドシックス戦略、すなわち各資産のボラティリティと資産間の相関をモニターし各資産の基準価額への影響度合いが概ね均等になるよう資産配分を行います。この戦略により基準価額を安定させるとともに、リスク対比で魅力的な収益の獲得を目指します。なお、将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

お知らせ

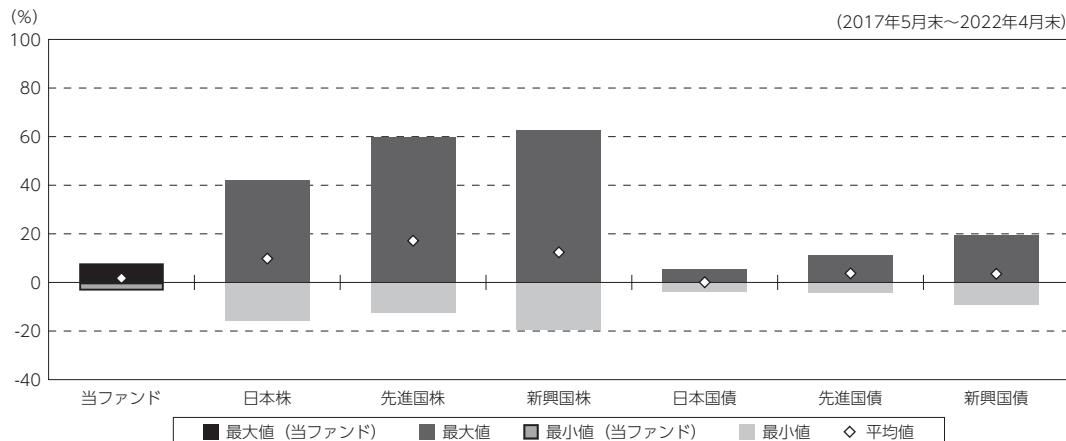
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2017年3月13日から無期限
運用方針	インカム収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	以下の投資信託証券（以下「投資対象ファンド」といいます。）を主要投資対象とします。 日本超長期国債ファンド（適格機関投資家向け） 高格付先進国ソブリン債券（円ヘッジ）ファンド（適格機関投資家向け） 高利回りソブリン債券インデックスファンド グローバル・ハイインカム・エクイティ・ファンド アンヘッジド・クラス グローバル・リアルエステート・ファンド（適格機関投資家向け） ゴールド・ファンド（適格機関投資家向け）
運用方法	投資対象ファンドを通じて、主として6つの資産（日本国債、ヘッジ付海外債券、高金利海外債券、グローバル高配当株式、グローバルREIT、金）に投資します。 資産配分については、各資産の基準価額への影響度合いが、6資産の間で概ね均等になるような資産配分戦略（ブレンドシックス戦略）を用いて、値動きの影響度が特定の資産に偏らないことを目指します。さらに、資産配分を定期的に見直すことで、基準価額の変動抑制効果を高めるとともに、魅力的な収益の獲得を目指します。
分配方針	毎年5月、11月の各15日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として収益分配を目指します。 分配金については、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。 分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます）等の全額とします。 ※ただし、第1期の決算時においては収益分配を行いません。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	7.9	42.1	59.8	62.7	5.4	11.4	19.3
最小値	△ 3.3	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 4.0	△ 4.5	△ 9.4
平均値	1.7	9.8	17.2	12.4	0.1	3.7	3.5

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2017年5月から2022年4月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは2018年3月以降の年間騰落率を用いております。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2022年5月16日現在)

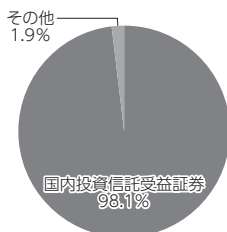
○組入上位ファンド

銘柄名	第11期末
	%
高格付先進国ソブリン債券(円ヘッジ)ファンド(適格機関投資家向け)	35.2
日本超長期国債ファンド(適格機関投資家向け)	28.7
高利回りソブリン債券インデックスファンド	11.7
その他	22.5
組入銘柄数	6銘柄

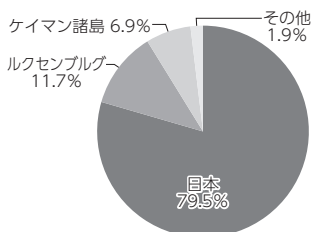
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

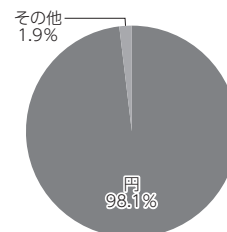
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 国内投資信託受益証券には外国籍(邦貨建)の証券を含めております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

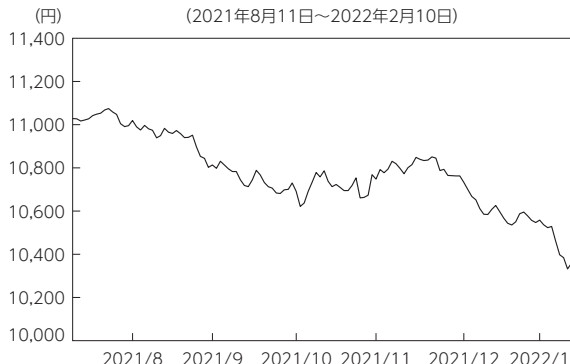
項目	第11期末
	2022年5月16日
純資産総額	61,636,419,278円
受益権総口数	60,172,239,421口
1万口当たり基準価額	10,243円

(注) 期中における追加設定元本額は1,438,208,570円、同解約元本額は4,331,244,341円です。

組入上位ファンドの概要

高格付先進国ソブリン債券（円ヘッジ）ファンド（適格機関投資家向け）

【基準価額の推移】



(注) グラフの基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものととして当社が別途計算したものです。

【1万口当たりの費用明細】

(2021年8月11日～2022年2月10日)

項目	第54期～第59期	
	金額	比率
(a) 信託報酬	14	0.133%
(投信会社)	(12)	(0.111)
(販売会社)	(1)	(0.006)
(受託会社)	(2)	(0.017)
(b) その他費用	1	0.011%
(保管費用)	(1)	(0.007)
(監査費用)	(0)	(0.001)
(印刷費用)	(0)	(0.003)
合計	15	0.144%

作成期間の平均基準価額は、10,760円です。

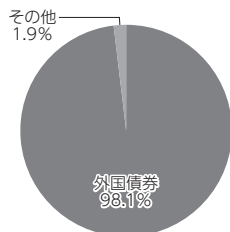
(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

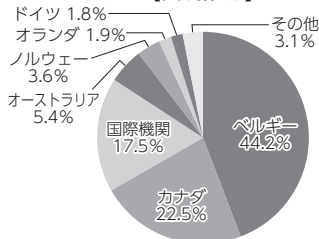
銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国（地域）	比率
1 BELGIUM KINGDOM 1% 2031/6/22	国債証券	ユーロ	ベルギー	23.0%
2 BELGIUM KINGDOM 3% 2034/6/22	国債証券	ユーロ	ベルギー	9.2%
3 CANADA HOUSING TRUST 1.75% 2030/6/15	特殊債券	カナダドル	カナダ	8.0%
4 EUROFIMA 3.35% 2029/5/21	特殊債券	オーストラリアドル	国際機関	8.0%
5 BELGIUM KINGDOM 1.25% 2033/4/22	国債証券	ユーロ	ベルギー	7.9%
6 PROVINCE OF ALBERTA 3.3% 2028/3/15	地方債証券	アメリカドル	カナダ	6.1%
7 CANADA HOUSING TRUST 1.1% 2031/3/15	特殊債券	カナダドル	カナダ	5.0%
8 EUROPEAN INVESTMENT BANK 3.75% 2032/6/1	特殊債券	スウェーデンクローナ	国際機関	4.3%
9 KOMMUNALBANKEN AS 2.4% 2029/11/21	特殊債券	オーストラリアドル	ノルウェー	3.6%
10 BELGIUM KINGDOM 0.1% 2030/6/22	国債証券	ユーロ	ベルギー	3.0%
組入銘柄数		29銘柄		

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

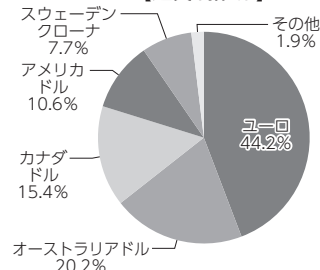
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2022年2月10日現在のものです。

(注) 資産別・国別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

※組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、当該ファンドが投資対象とするマザーファンドの内容を記載しています。

日本超長期国債ファンド（適格機関投資家向け）

【基準価額の推移】



(注) グラフの基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものととして当社が別途計算したものです。

【1万口当たりの費用明細】

(2021年9月9日～2022年3月8日)

項 目	第55期～第60期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	10 (8) (1) (1)	0.090 (0.071) (0.005) (0.014)
(b) そ の 他 費 用 (監 査 費 用) (印 刷 費 用)	1 (0) (0)	0.005 (0.001) (0.004)
合 計	11	0.095

作成期間の平均基準価額は、10,745円です。

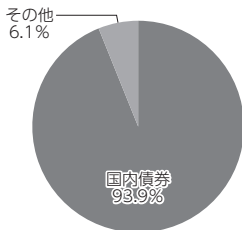
(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

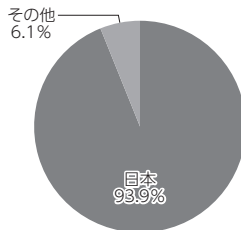
銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地 域)	比 率
1 第365回利付国債(10年)	国債証券	円	日本	9.5%
2 第150回利付国債(20年)	国債証券	円	日本	7.1%
3 第154回利付国債(20年)	国債証券	円	日本	6.9%
4 第167回利付国債(20年)	国債証券	円	日本	6.6%
5 第159回利付国債(20年)	国債証券	円	日本	6.4%
6 第70回利付国債(30年)	国債証券	円	日本	6.0%
7 第68回利付国債(30年)	国債証券	円	日本	5.8%
8 第171回利付国債(20年)	国債証券	円	日本	5.7%
9 第14回利付国債(40年)	国債証券	円	日本	5.3%
10 第64回利付国債(30年)	国債証券	円	日本	4.3%
組入銘柄数		22銘柄		

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

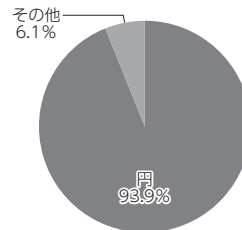
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



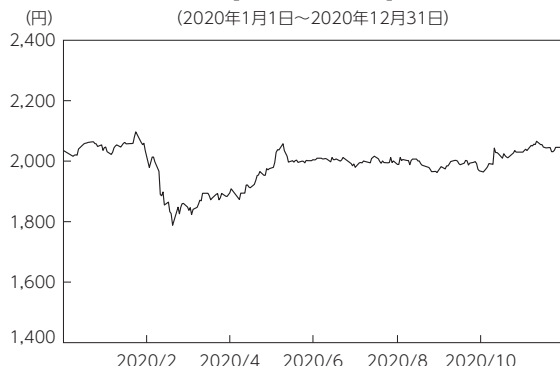
(注) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2022年3月8日現在のものです。

(注) 資産別・国別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

※組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、当該ファンドが投資対象とするマザーファンドの内容を記載しています。

高利回りソブリン債券インデックスファンド

【基準価額の推移】



(注) グラフの基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものととして当社が別途計算したものです。

【1万口当たりの費用明細】

(2020年1月1日～2020年12月31日)

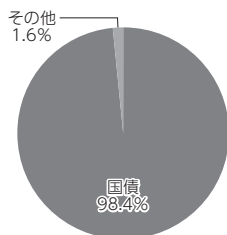
当該期間の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

【組入上位10銘柄】

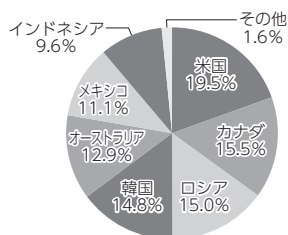
	銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国(地域)	比率 %
1	Korea Treasury Bond	国債	韓国ウォン	韓国	1.2
2	Mexican Bonos	国債	メキシコペソ	メキシコ	1.1
3	Korea Treasury Bond	国債	韓国ウォン	韓国	1.0
4	Canadian Government Bond	国債	カナダドル	カナダ	1.0
5	Canadian Government Bond	国債	カナダドル	カナダ	1.0
6	Mexican Bonos	国債	メキシコペソ	メキシコ	1.0
7	Korea Treasury Bond	国債	韓国ウォン	韓国	1.0
8	Mexican Bonos	国債	メキシコペソ	メキシコ	1.0
9	Russian Federal Bond - OFZ	国債	ロシアルーブル	ロシア	1.0
10	Russian Federal Bond - OFZ	国債	ロシアルーブル	ロシア	0.9
組入銘柄数			243銘柄		

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

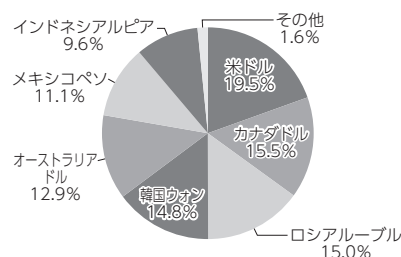
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2020年12月31日現在のものです。

(注) 資産別・国別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

○MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村証券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。